

## 阿寒湖の美

日本でただ一つのマリモのある湖として有名である。青く澄んだ水を湛え、湖岸線は出入が多く変化に富み、見事な原始林が水面に迫つくる幽すい境、神秘的な湖である。



# 北海道行政書士会報

発行所  
札幌市大通西6丁目  
北海道行政書士会  
T ②3881・②40545  
振替口座小樽8224

印刷所  
株式会社 正文舎印刷所  
札幌市菊水西町2丁目  
電話②7151~3番

27 日 入会 旭川  
28 日 入会 旭川  
29 日 入会 旭川  
30 日 入会 旭川  
31 日 入会 旭川

12 日 入会 札幌  
13 日 入会 札幌  
14 日 入会 札幌  
15 日 入会 札幌  
16 日 入会 札幌

第三四号 もくじ

一、特報	2
一、会務報告	2
一、日行連定時総会報告	3
一、支部だより	5
札幌支部定時総会 釧路支部定時総会 釧路支部五月定例役員会 小樽支部定時総会 十勝支部研修会	
一、行政書士試験案内	7
一、会員移動	6
一、事務局日誌	8

特報

北海道行政書士会  
労務部会の発足

時代の發遷に伴う労務保険士法に対処すべく労務部会の創立総会を左記により開催する。  
部会入会希望者の多数の集りを切望する。

記

- 一、日時 昭和四十二年八月五日午後一時
- 二、会場 札幌市北四条西一丁目 共済ビル八階

会務報告

第四回常任理事会

- 一、日時 昭和42年6月19日午後6時
- 二、場所 札幌市北2・西3 辰美旅館
- 三、出席者 渡辺会長、佐藤、藤山副会長、鈴木、成沢、有馬、森口、荒

…常任理事…  
事務局 2人

- 特別出席者 高田、成田、中川、遠藤
- 一、欠席 岸川副会長、森平、高島、横路
- …常任理事…

一、議事

- 1、会長挨拶
- 2、報告事項

昭和42年度日行連定時総会（於東京）  
日行連理事會、支局長會議（於東京）

藤山副会長、挨拶と共に専門部会（労務部会）を作ることに必要性を説明。  
協議に入り部会を北海道行政書士会の内部機構として名称を「北海道行政書士会労務部会」とする。

会則を作ることに。  
全會員に周知させること。

第一回綱紀委員会

- 一、日時 昭和42年6月27日午後一時
- 二、場所 札幌市経済センター3階 特別C室
- 三、出席 渡辺会長、佐藤、藤山副会長

小城（札幌）丹羽（旭川）須郷（留萌）  
野際（十勝）斎藤（釧路）事務局2人

野崎（札幌）半田（札幌）松本（小樽）  
杉本（空知）野村（旭川）蝦名（宗谷）  
工藤（網走）荒川（室蘭）日向寺（日高）  
鈴木（根室）

一、議事

- 一、議案 綱紀委員長選任の件  
小城清二氏（札幌）委員長と決定
- 二、議案 綱紀委員長職務代行者選任の件  
野崎幸氏（札幌）をすい選と決定

会則第32条2項、綱紀委員会は職務執行にあたって必要な内規を定め、會員が法若しくは法に基づく命令に違反したと認料するときはその旨を會長に報告しなければならぬ……に基づき内規の基本的骨子を吟味することにし後日成案することにした。  
基本的骨子の主なるもの。

藤山副会長一括して報告説明

○昭和42年度日行連定時総会状況

- 一、日時 昭和42年5月21日午後一時
- 二、場所 東京都中央区築地一丁目一番区立中央会館会議室

一、議事

- イ、第一号議案  
昭和41年度収入支出決算報告  
異議なく承認と決定
- ロ、第二号議案  
昭和42年度事業計画案
- ハ、第三号議案  
昭和42年度収入支出予算案

一括上程、共に二、三の質問あつて採決により承認  
ニ、役員補充選任の件  
監事 埼玉会一人  
理事 千葉会二人、静岡会二人  
愛知会一人

ホ、名誉会長（現清九名誉会長）の名称を取消し案の審議  
浅井日行連会長に一任することに決定  
ハ、表彰規定制定の件  
原案通り決定

北海道会より渡辺会長、藤山、佐藤、岸川副会長受賞

一、要望事項

東京会、宮崎会、秋田会より夫々要望事項あり。  
日行連事務所を東京都に置くこと。  
行政書士の補助者として司法書士等類似業者の使用を認めないよう改正を要すること。

(1) 綱紀委員会の開催

イ、会長から要請のあつたとき  
ロ、委員会が必要ありと認めたとき  
(2) 会議の成立  
イ、会議は出席した委員を以て開く。但し出席委員5名に満たないときは成立しない。  
ロ、其の他細部に亘る事項も入れること。

三、綱紀案 會員の品位保持に関する件

イ、綱紀委員会は會員の品位保持に関する事項を掌することは勿論だが、委員は担当支部の実情を把握し非行政書士に対しても綱紀委員會の掌る範囲に入れるべきである。  
ロ、本会より処分退会者のある場合は該支部綱紀委員にも通知すること。

ハ、會員の品位保持のため、支部長、綱紀委員の主権によって行政書士法の講習会等開催する必要がある。

一、閉会 午後4時半。

日行連定時総会報告

東京都において去る5月21日開催された標記の会議に出席した経過を次のとおり報告します。

北海道行政書士会会長

渡辺慶吉  
副会長 藤山利夫  
理事 佐々木行雄

- 一、日時 昭和42年5月21日午後一時
- 二、場所 東京都中央区築地一丁目一番一号

○昭和42年度日行連支部長及び理事会状況

- 一、日時 昭和42年6月6日
- 二、場所 静岡市

北海道会より藤山副会長出席

イ、労務保険士法案の立法には反対の立場をとっていたが、現状勢は立法の段階にきている。法案の内容を見るにその業務は行政書士業務内容であるので行政書士は経験（既得権）を生かして労務保険士の資格を取得すべきであることを法案に入れるべきと提案している。

一、協議事項

イ、専門部会設置の件

特別出席者（前掲）を世話人として労務に関する専門部会の設置を承認して貰いたい。次の機会に正式発足し具体的成案を得たい。  
ロ、未加入者に対する入会勧誘について  
全道的に積極的に行なうこと。

ハ、業務違反者の処置について  
再調査を要するものは種々の方法で確認すること。

非行政書士には入会を勧誘すること。  
入会せざるものは道警、其の他関係機関に積極的に取締りを要請すること。  
ニ、会費滞納者の処分について  
会則に従い処置すること。

専門部会発足世話人会

- 一、日時 昭和42年6月22日午後6時
- 二、場所 札幌市北2・西3 辰美旅館
- 三、出席者 渡辺会長、藤山副会長、遠藤、高田、成田、中川、氏家、白坂

区立中央会館会議室

一、出席者 委任状21名 出席者74名  
司会者により開会宣言

一、会長挨拶

日行連浅井会長が会の現況と今後の方針について説明を加えた挨拶あり。

2、正副議長選出

司会者一任と決定。

議長：埼玉県会長 石井氏

副議長：宮崎県会長 土屋氏を指名

3、議長より議事録署名名員の指名あり

議事録署名名員 青森会 米沢氏

岐阜会 柳原氏

4、会務並びに業務報告

日行連浅井会長、プリントにより報告。

報告の中で連合会運営に功績のあつたものを10名程度を自治大臣より表彰をお願いしてあつたが、本日の総会までの日時がなく実現出来なかつたことが報告された。

5、議事審議

(1) 第一号議案 昭和41年度収入支出決算報告上程、続いて監査報告。

二、三の質問あつて異議なく承認と決定。

(2) 第二号議案 昭和42年度事業計画案

第三号議案 昭和42年度収入支出予算案一括上程。

第二号議案………例年通りで承認。

第三号議案は特記を要する質問もなく二、三の数字整理上の質問があつたが採決により異議なく承認と決定。

(3)、役員補充選任の件上程

イ、監事、栃木会、新司郎氏、死亡による後任は、埼玉会、石井氏と決定。

ロ、理事 東京会 阿部友藏氏  
大倉宗太郎氏  
愛知会 高橋二三氏の三氏は  
辞任届提出  
以上三氏の辞任承認。  
後任理事として  
千葉会 落合良一氏  
静岡会 一名  
愛知会 三原庄一氏と決定。  
ハ、相談役推せんのか件  
日行連会長より、元日行連会長であった橋  
本雅晴氏を本会の相談役に推せんしたいと提  
案。  
岐阜会、大野氏より賛成演説があり全員異  
議なく相談役として橋本雅晴氏と決定。  
ニ、現清九名管会長より名譽会長の名称を附与  
しないことにしたいと浅井会長より提案した  
が(具体的説明を北海道会藤山代議員から求  
めた)事の理由は公会の席上であり、人権上  
具体的事例はさげ度いとの説明によりこれを  
諒承、種々論議の結果、現浅井日行連会長就  
任の折現会長の推せんしたものであるから本  
総会に附議すべき事案でない。清九名管会長  
の処遇は浅井会長に一任することに決定され  
た。

6、表彰規定制定の件  
表彰規定原案をプリントにより説明あり、原案  
通り決定。  
7、その他  
○東京会より要望  
1、日行連事務所を東京都に置く。  
2、現在全国を八支部に区画組織されているが  
支部は現況を考慮して考案されている。

支部だより

札幌支部定時総会

- 一、日時 昭和42年5月27日午後一時
- 一、場所 札幌市北一条西7丁目  
北海道警察共済会館会議室
- 一、出席者 30名
- 一、議事  
犬飼副支部長開会宣言  
1、支部長挨拶  
森口支部長、今年度の計画等について説明を加  
え挨拶。  
2、議長選出  
支部長の指名と決定され、小城清二氏を指名す。  
小城清二氏、議長席に着席、議長就任挨拶。  
3、議事録署名名目、記録員  
議事録署名名目には小城清二氏、大飼竹治氏と決  
定。記録員には、石道政治氏、中川悦男氏を指名。  
4、報告  
昭和42年度北海道行政書士会定時総会に代議員  
として出席した大飼副支部長より総会の状況を詳  
細に報告された。  
5、議案審議  
(イ)、昭和41年度事業報告  
昭和41年度収支決算報告を一括上程。  
各担当役員よりそれぞれ説明があり二、三の  
質問あつて異議なく承認決定。  
(ロ)、昭和42年度事業計画案  
昭和42年度収支予算案を一括上程され、原案通  
り費用は流用を認める事を付加えて承認と決定。

3、現日行連会則は不備が多く、会運営上支障  
があるので会則改正を要する。そのため会則  
改正特別委員会設置の必要あり。  
○宮崎会より要望  
1、行政書士は、例えば司法書士、土地家屋調  
査士等の類似業書士を補助者として認めない  
よう自治省へ申入れ法律の改正をすること。  
2、行政書士啓蒙用ポスターを日行連で各単位  
会のものを共同印刷して配布することを考慮  
すること。  
3、自動車運転免許申請及び同記載事項変更等  
の申請は、行政書士の業務であるにもかかわ  
らず、これに対して非行政書士が横行してい  
る折から非行政書士の阻止に当るようにする  
こと。

○秋田会より要望

- 1、事務所を東京都に置く。
  - 2、顧問、相談役の有給化を図る。
  - 3、自治省との接渉緊密化を図る。
  - 4、役員報酬を支給する。
  - 5、常務理事の常任及び事務局の強化。
  - 6、強化対策に伴う特別基金の拠出。
  - 7、機関紙の刊行。
- 以上の7点を挙げ「行政書士」の誇りと自ら喜  
びをもって会費納入を進んで実行することを自覚  
させる対策の確立を期するためと結ぶ。  
8、表彰状贈呈  
日行連会長より表彰者の総数23名、内北海道会  
では渡辺慶吉、佐藤幸之助、藤山利夫、岸川隆次  
4の名が表彰された。  
9、来賓祝辞  
来賓の方欠席のため祝辞省略  
10、閉会

6、その他

- (イ)、業務講習会の件  
本年度の目標は労働行政を第一とし、戸籍住  
民登録を第二として取上げることと決定。  
(ロ)、北海道行政書士会定時総会に於て支部へ附託  
された綱紀委員は先の役員会の議を経て、小城  
清二氏、野崎幸氏、半田公夫氏を決定されたこ  
とを報告。  
(ハ)、来賓祝辞  
来賓祝辞を当職(北海道行政書士会長)に要  
望したが、一支部会員として出席したので業務  
の確保について左のことを要望した。  
1、自賠法による手続一切を確保するよう要請  
2、非行政書士取締の一環として行政官公署に  
対して協力方要請文発送の必要性  
一、閉会  
石道政治氏閉会の挨拶。

釧路支部定時総会

- 一、期日 昭和42年5月6日
- 一、場所 釧路市浦見町2丁目 三吉会館
- 一、出席者 25名、委任状10名
- 一、議事  
午後一時35分、副支部長大沢清氏開会宣言。  
1、支部長、伏見 勇氏 挨拶  
2、釧路支庁長(代理坂上主事補) 祝辞  
3、議長選任、常見庄司氏議長となる。  
4、報告議案上程  
○第1号 昭和41年度事業経過報告  
重点を①未入会者の入会促進並びに勧告 ②非  
書士の取締並びに違法行為の防止 ③支部執行  
体制の確立に置いたことを報告。満場一致承認

閉会が宣せられ午後5時終了。

○総会以外の会合

総会終了後別会場、旅館熱海荘に於いて支部長会  
議開催、北海道支部長渡辺慶吉出席。

議事

- 1、総会決定事項及び重要事項について実行に  
移すための方策。
- 2、労務保険士法案制定阻止の対策。  
種々協議されたが近く理事会を招集し、具  
体的に決定することに意見一致。
- 3、午後7時過ぎ会議終了。

○その他の重要事項

五月二十二日

労務保険士法案阻止陳情のため、第一及び第二  
議員会館へ地崎宇三郎、横路節雄、田中正巳、箕  
輪登の四先生を訪問したが、在室されたのは横路  
節雄先生だけで、地崎、田中、箕輪各先生は不在  
であったので秘書の方へ事情を説明して労務保  
険士法案を阻止下さるよう各先生方にお伝いする  
よう依頼した。横路先生には現況を御説明申し上げ、  
断じて該法案制定を阻止下さるよう御願ひした。

○感想

横路節雄先生からいろいろの指示や御指導を  
戴き先生への訪問陳情は大きな成果があった事  
を特記して置く。

北海道地区より選出された前記四先生に面接  
のため事前に連絡等の労を取って下さった自民  
党道連及び同党札幌支部、行政書士横路雅美氏  
に厚く謝意を表したい。

- 第2号 昭和41年度収支決算報告(異議なく承  
認)
- 第3号 専決事項報告  
①昭和41年度本会代議員1名補欠選任 ②支部  
旅費支給規程一部改正 ③昭和42年度定時総会  
招集期日変更  
5、審議議案上程

- 第1号 昭和42年度事業計画案  
業務の研修、会員の福祉、会員相互の親睦交  
流、会報の発行等。  
異議なく可決
- 第2号 昭和42年度収支予算案原案通り可決
- 第3号 監事(1名)選任  
佐藤 猛と決定
- 第4号 昭和42年度本会代議員(2名)選任  
細木貞次、武田時雄を可決決定
- 第5号 報酬額改訂促進について

○「議事外」業務連絡

- 一、閉会 副支部長大沢 清氏閉会宣言  
午後5時30分

釧路支部5月定例役員会

- 一、期日 昭和42年5月18日午後6時40分
- 一、場所 釧路市錦町5丁目5番地 当支部事務所
- 一、出席者 支部長 伏見 勇  
副支部長 尾越 勝典  
同 大沢 清  
常任理事 細木 貞次  
監事 佐藤 猛  
本会綱紀委員 斎藤 政男  
代議員 武田 時雄
- 一、報告事項

- (一)、会員異動  
(二)、5月定例役員会期日変更  
(三)、会計  
(四)、本会理事、支部長合同会議  
1、綱紀委員の員数  
2、日行連定時総会  
3、非書士の取締りについて  
4、報酬額改訂について

二、協議事項

- (一)、定時総会決定事項の処理について  
1、議事録の発送  
2、固定資産の証明、閲覧について  
3、報酬額改訂促進決議について  
4、運転免許申請書等の作成について  
三、午後8時43分開会

小樽支部定時総会

- 一、日時 昭和42年6月3日午後1時  
二、場所 小樽市海員会館会議室  
三、出席者 12名  
四、来賓 北海道行政書士会副会長 佐藤幸之助氏  
五、議事  
1、司会者により開会宣言  
細井伊三郎支部長、総会開会挨拶  
2、来賓祝辞(佐藤副会長)  
祝辞要項左の如し  
イ、非行政書士防止対策問題  
ロ、労務管理士法国会通過の傾向  
ハ、日行連に於いて緊急会議6月6日召集、藤山副会長出席  
ニ、該法案の内容並びに行政書士として進むべき方向が重要なることと認む

- ホ、行政書士として重要なことなので、結果判明次第第1回会に早急周知するよう取計う  
3、議長選出  
松本又蔵議長に選出される  
4、記録署名員、代議員選出  
大淵博氏を記録署名員に、大野新一氏を代議員に指名選出  
5、議案審議  
イ、昭和41年度事業報告：異議なく承認  
昭和41年度収支決算報告：異議なく承認  
ロ、昭和42年度事業計画案：異議なく承認  
昭和42年度予算案：審議に対し組替動議提出  
理由 本部総会に出席する支部長及び代議員の旅費は当然支部で負担すべきで予算を組むべきだ。一全員賛成一予算組替成立。  
6、本部に対する要望  
退会処分するに際し本部の指示により、支部長に当該会員に対し実地調査する場合、本部に於いて旅費を支出してほしい。  
○佐藤副会長の応答  
滞納処分により退会処分決定は本部事務局より直接本人宛督促・催告し、その結果を理事会に諮り退会処分を決定している。若し本部の指示により調査の必要がある場合は当然旅費の支出があるべきで、この点よく調査して善処する。  
7、研修会について  
労務管理士法が成立した場合、本部主催の研修会を開催することを要望。尚関係書籍の斡旋もしてほしい。  
8、役員改選  
選考委員をあげて審議の結果、全員再選重任と決定。  
一、開会 議案全部終了、閉会

十勝支部研修会

- 一、期 日 昭和42年7月8日午後1時  
二、場 所 帯広市西5条南8丁目 労働会館 2号室  
三、出席者 45名  
四、講師 十勝支庁農地係 山本一男氏 沼田達司氏  
五、研究課題  
(イ)、農地法について  
(ロ)、農地法第5条についての取扱方法  
(ハ)、農地法第4条の取扱について  
(ニ)、非書士取扱について  
一、午後4時30分開会  
引続き臨時役員会  
一、日時 昭和42年7月8日午後5時  
二、場所 帯広市西3条南8丁目 日本橋食堂  
三、出席 役員全員  
四、議案 非行政書士対策について

行政書士試験案内

○北海道告示第一〇四六号  
行政書士法(昭和二十六年法律第四号)第四条の規定により、昭和四十二年度行政書士試験を次のとおり施行する。  
昭和四十二年六月十五日  
北海道知事 町村 金五

会員移動(42年5月16日より7月15日まで)

◇入会

支部	会員番号	氏名	事務所	入会月日	備考
函館	八六一	沢田鉄太郎	函館市青柳町36の6	5・17	新入会
日高	八六二	山藤芳郎	新冠郡新冠町字新冠84	5・19	〃
札幌	八六三	徳永捷紀	札幌市北1条西10丁目1	5・23	〃
〃	八六四	三浦喜旌	〃 北32条西5丁目120	6・14	再入会
〃	八六五	氏家幸雄	〃 南1条西19丁目	6・22	新入会
〃	八六六	宮城 宏	千歳市末広町東区2丁目89	6・26	〃
〃	八六七	芳賀一三	江別市野幌町28-12	6・28	〃
十勝	八六八	柿沼米造	帯広市西2条南17丁目12	6・29	〃
札幌	八六九	青木哲雄	札幌市豊平町中の島31の25	7・1	〃
〃	八七〇	佐藤吉哉	〃 白石町本通621	7・6	〃

◇退会

支部	会員番号	氏名	事務所	退会月日	備考
室蘭	一三九	塩川 勝	室蘭市山手町3丁目10番	6・1	廃業
函館	四二	安部英夫	函館市東雲町1	6・1	死
小樽	七四二	瀬尾 仁	小樽市最上町37	6・14	廃業
網走	一二五	山田昌靖	網走市南5条東3丁目7	6・28	死
札幌	一二九	田内益夫	札幌市南1条西19丁目	6・28	死
日高	八二四	西内久治	沙流郡門別町字厚賀町91	7・5	廃業

五、受験資格

- (1)、次の各号の一に該当する者。  
ア、学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)による高等学校を卒業した者、その他同法第五十六条第一項(大学入学資格)に規定する者。  
イ、国又は地方公共団体の公務員として行政事務を担当した期間が、これを通算して三年以上になる者。  
(2)、次の各号の一に該当する者であらかじめ知事から受験資格の認定を受けた者。  
ア、行政書士の補助者としてその職に通算して三年以上従事した者。

◇ 処分退会

支部	氏名	住 所	退会月日	事 由
札幌	石岡 豊太郎	札幌市月寒東1条10丁目	6・30	上記7名は、 会則第58条第 2項の規定に より昭和42年 6月30日限り 退会
空知	長尾 安夫	樺戸郡月形町市北8	"	
網走	生田 栄一	紋別市幸町2丁目	"	
十勝	大下 春見	帯広市西1条1丁目	"	
十勝	米森 順治	中川郡本別町字本別北見通15	"	
日高	斎藤 良和	浦河郡浦河町字界町77の41	"	
室蘭	唐崎 政晴	苫小牧市勇弘25	"	

イ、公団、各種協同組合等の職員として行政事務に準じる職に就任して三年以上従事した者。  
ウ、前号に掲げる者と同等以上の知識及び能力を有すると認められた者。

六、試験科目

憲法、法学通論、戸籍法、行政書士関係法令、一般常識、作文

七、受験願書提出手続

受験しようとする者は、行政書士試験受験願書に所定の事項を記入し、次の書類及び受験手数料を添えて知事に提出し、受験票の交付を受けること。  
郵送により提出する場合は、封筒の表に「行政書士試験受験願書在中」と朱書きし、あて先を明記し十五円切手をはった返信用封筒を同封すること。  
(1)、本籍市町村長の発行する身分証明書

(2)、受験資格を有することを証明する書類  
(市町村長その他官公署の長、学校等の発行する在職証明書、卒業証明書、受験資格認定証等)  
(3)、受験手数料一、〇〇〇円(北海道収入証紙を受験願書の所定欄にはりつけること)  
八、受験資格認定手続  
前記五受験資格(2)に該当する者で知事の認定を受けようとするものは、別記様式による受験資格認定申請書に次の書類を添えて知事に提出すること。

(1)、履歴書  
(2)、学業証明書(最終学校の卒業又は終了証明書)  
(3)、前記五受験資格(2)に該当する者であることを証明する書類  
九、その他  
(1)、受験資格の認定は、受験願書提出前に行なう必要があるので、すみやかに申請書を提出し、受験

別記様式

受験資格認定申請書

北海道知事殿

申請者 本 籍 所  
(ふりがな) 氏 名

年 月 日 生

行政書士法第3条第3号に該当する者として認定されたく、行政書士施行細則第1条の規定により、履歴書及び関係書類を添えて、申請します。

(2)、受験願書及び受験案内は、北海道総務部地方課又はよりの支庁地方部総務課で交付する。  
郵便による請求の場合は、あて先を明記し、十五円切手をはった返信用封筒を必ず同封すること。  
(3)、受験についての問い合わせは、北海道総務部地方課(札幌市北三条西六丁目 電話二二五局九一一番、内線四三八番)又はよりの支庁地方部総務課地方係に対して行なうこと。

事務局日誌

5 月(16日以降)

17日 入会 函館  
18日 渡辺会長、藤山副会長、左記箇所を訪問陳情  
1、自由民主党道支部を訪問  
社会保険士会関係者とのため道支部代表

29日 入会 十勝  
会費督促端書85通発送  
30日 会則第58条第2項に該当するもの7名発表  
会費督促端書11通発送

7 月

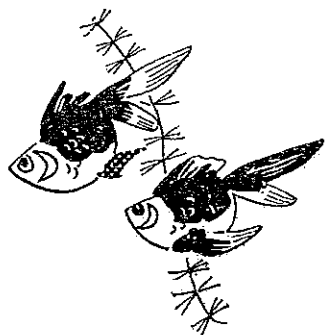
1日 入会 札幌  
5日 退会 日高  
6日 入会 札幌  
非行政書士資格者に入会勧誘文発送  
8日 十勝支部に於いて農地法に関する講習会開催の旨電話連絡  
13日 退会 小樽  
会費長期滞納者に内容証明22通発送  
空知支部会員 室田隆二の件、道知事及び綱紀委員長に連絡報告

2、北海道総務部地方課を訪問  
島根県課長補佐、第二係長に報酬額改訂を陳情  
3、石狩支庁を訪問  
菊地盛之助総務課長、及川係長に非行政書士取締りについて陳情

19日 入会 日高  
21日 昭和42年度日行連総会(東京)へ渡辺会長、藤山副会長、佐々木理事出席  
23日 入会 札幌  
吉崎光子事務員退職

6 月

1日 退会 室蘭、函館  
5日 後任事務員 武田幸子出勤  
6日 日行連緊急支部長、理事会(静岡)開催  
藤山副会長出席  
12日 札幌公共職業安定所及び社会保険事務所を訪問  
行政書士との事務関係調査  
14日 入会 札幌 退会 小樽  
17日 渡辺会長、藤山副会長、左記を訪問・陳情  
道地方課へ報酬額改訂について陳情  
19日 第四回常任理事会、午後6時、辰美にて入会 札幌  
22日 労務部会発足世話人会、午後6時、辰美にて会費督促端書27通発送  
23日 会費督促端書77通発送  
26日 入会 札幌  
27日 第一回綱紀委員会、経済センター3階C室で開催  
28日 入会 札幌、退会 札幌、網走  
会費督促端書13通発送





### 三 北海道行政書士会労務部会設置趣意書 三

時代の變遷にともない労務管理が企業経営上に占める重要度は極めて大きく、企業間の競争の激化は労務管理の近代化と合理化を要求しておるものであり、これに伴う労働者災害補償保険法以下一連の保険制度は労使間に大きく寄与するものでありますが、その手続は複雑であり企業にとっては相当の負担となつているのであります。

労務部会会員は労務管理の相談、指導に応じ、又労働及び社会保険に関する法令に基づいて、行政機関等に提出

する諸手続書類並びに帳簿類の作成代行業務を能率的に行なつて、労使双方の利益を図り、もつて企業の安定化をもたらし、その社会的役割を高度に果たそうとするにあります。

この度北海道行政書士会の専門部会として労務部会を別紙会則により発足し、行政書士法第一条による私どもの業務の益々発展を図ることを目的としました。

会員各位は社会の情勢を御理解の上絶大なる御協力をお願いいたします。